



発行所 社団法人 神奈川県造園業協会 横浜市中区常盤町2-10 仲光ビル2階 〒231-0014 電話 (045) 662-8793 662-1767 FAX (045) 662-4381 年間購読料 3,150円 (郵送料を含む) ただし会員の購読料は会費に含まれています。



http://www.kanagawazozen.or.jp

安心と先進!

神奈川県から未来につながる確かな一歩を

神奈川県知事 松沢 成文



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたことと存じます。年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたことと存じます。年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。昨年、経済・雇用情勢の低迷や新型インフルエンザの流行、政権交代、県内では相模原市の政令指定都市への移行決定など、社会経済のあらゆる面で大きな「動き」や「変化」が見られた一年でした。

県では、こうした社会経済の動向に対応しながら、生き生きと心豊かにくらす地域社会の実現を目指し、さまざまな施策を推進しています。喫緊の課題への対応としては、これまでに数次にわたる緊急経済対策を実施

し、現在も、地域建設業経営強化融資制度をはじめとする中小企業制度融資の充実や国の基金を活用した雇用創出事業など、総額3,000億円を超える大規模な経済・雇用対策に全力を挙げて取り組んでいます。また、新型インフルエンザ対策としては、大流行による供給不足に備えるための抗インフルエンザウイルス薬の備蓄や、ワクチン接種体制の整備などに取り組んでいくところです。今後、こうした喫緊の課題に対しては、時機を失することなく、皆様の安心を支えるための対策を着実に進めてまいります。

一方、神奈川の未来を見据えた、先進的な施策も積極的に推進してまいります。保健福祉の分野では、全国で初めて制定された「受動喫煙防止条例」の今年4月からの円滑な施行に向け、多くの皆様による趣旨をご理解いただけるよう、普及啓発活動に力を注いでいます。また、昨年か

らは関係市町とともに、海水浴場における喫煙の新たなルール作りに向けた取組みを進めています。安全できれいな、快適な海水浴場の実現を目指して、都道府県初の条例化を進めてまいります。そして、人類共通の課題である地球温暖化対策に有効である電気自動車(EV)の普及に向けた取組みも、神奈川が全国をリードしています。今年、急速充電器などのインフラ整備や電気バス開発などの取組みにも、さらに力を注いでまいります。

今年5月には「第61回全国植樹祭」、10月には青年技能者や障害のある方たちが日ごろ職場などで培った技能を競う「技能ルネッサンス!」かながわ2010」が、そして11月には「日本APEC首脳会議」が県内で開催され、国内外から多くの方々が来県されます。これを機に本県の先進的な政策についても全国に発信してまいります。

今後とも県では、行財政改革とともに「安心」と「先進」の施策を着実に推進することにより、神奈川から未来につながる確かな一歩を踏み出していきたく思います。皆様には、引き続き、県政への温かいお力添えをお願い申し上げます。

本年は、第六十一回全国植樹祭が神奈川県南足柄公園、秦野公園二公園にて天皇、皇后両陛下の御臨席のもと植樹祭が挙行されますことは天寿の御彌栄と心か

喜び申し上げます。これからの神奈川そして美しい国づくりや緑の回廊構想の実現、山・川・海又緑地等の整備を踏まえ、関係機関行政官公庁からの分野での指導・協力を賜りながら、当協会・各支部委員会が一層建設的に取り組む内容の充実を、今後更に当協会理事さん・支部長さん各位の貴重なご意見を受けながら又新しい時代に対応すべく青年部会・優れた人材の育成に努めるべく地域豊かな仲間づくり、前会長の言葉「花には水、

年頭のあいさつ



(社)神奈川県造園業協会会長 岸 本 好

新年に当たり、この一年が皆さん一人ひとりが幸せで明るい年になることを心からお祈りいたします。そして改めて当協会六百余社の繁栄を願いつつこの協会の運営に一層心引きしめ取り組んで行きたいと思っております。

本年も昨年同様に皆様のご理解、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。わが国の経済は世界的な金融危機により深刻な影響を及ぼし、大不況に見舞われており、この不況下で住環境整備に欠かせないといわれる「緑」を担っている造園業界の責任は大きいものと思えます。

二十一世紀は環境の世紀といわれている中、温室効果ガス二五パーセントを中期目標として議論されており、みどりや温室効果ガスの吸収には大きな役割を果たしています。

本年は、第六十一回全国植樹祭が神奈川県南足柄公園、秦野公園二公園にて天皇、皇后両陛下の御臨席のもと植樹祭が挙行されますことは天寿の御彌栄と心か

喜び申し上げます。これからの神奈川そして美しい国づくりや緑の回廊構想の実現、山・川・海又緑地等の整備を踏まえ、関係機関行政官公庁からの分野での指導・協力を賜りながら、当協会・各支部委員会が一層建設的に取り組む内容の充実を、今後更に当協会理事さん・支部長さん各位の貴重なご意見を受けながら又新しい時代に対応すべく青年部会・優れた人材の育成に努めるべく地域豊かな仲間づくり、前会長の言葉「花には水、

援ご協力を重ねて心からお願い申し上げます。おわりに会員皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

おわりに会員皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

平成22年(2010年) 神奈川県造園人 賀詞交換会開催のご案内

恒例の神奈川県造園人賀詞交換会は、下記のとおり予定しておりますので、ご案内いたします。

- 記
- 1 日時 平成22年1月12日(火) 午後6時
 - 1 場所 ロイヤルホールヨコハマ
 - 1 会費 男性6,000円 女性3,000円 TEL 045-641-1122



杉本 薫氏撮影

- 謹賀新年
- 平成22年(2010年)
- 社団法人 神奈川県造園業協会役員一同
- 生駒 武敬 相談役
 - 田澤 幸作 相談役
 - 下田 幸勇 相談役
 - 鈴木 一松 相談役
 - 岸本 和好 会長
 - 根岸 俊昭 副会長
 - 高橋 克明 副会長
 - 小山 俊一 副会長
 - 石川 龍二 副会長
 - 瀧川 隆雄 理事
 - 川田 秀一 理事
 - 唐戸 正男 理事
 - 今泉 健寿 理事
 - 小川 名真 理事
 - 田野 井茂 理事
 - 高橋 更一 理事
 - 長谷川 寿雄 理事
 - 大槁 清己 理事
 - 大胡 周一郎 理事
 - 細野 仁 理事
 - 渡邊 宣昭 理事
 - 笠原 三貴也 理事
 - 目代 久典 理事
 - 高橋 勇 理事
 - 木村 義広 理事
 - 原 茂弘 理事
 - 富田 改 理事
 - 難波 良雄 理事
 - 足立 原哲男 理事
 - 松井 徹 理事
 - 古川 香 理事
 - 新倉 治 監事

「かながわのみどりを創り、育てる」 講演会・集い開催される

平成二十一年十月二十六

日ホテル横浜ガーデンに於いて神奈川県のご後援を得て、主催神奈川県造園業協会、共催(社)日本造園建設業協会神奈川県支部、(財)日本造園修景協会神奈川県支部協賛により開催したところ

小野副知事、斉藤県土整備・石黒環境農政部長、国吉神奈川県議会議長、三好神奈川県議会議長、議員連盟会長・同議員・神奈川県・市町村公園・緑化事業担当者や会員を含め百四十六名が参加。

第一部「講演会」では、栗原正夫神奈川県土整備部大規模公園担当参事より、本日は神奈川県造園業協会の主催により、島山先生の講演を拝聴できるということで、楽しみに出席させて頂いている方も多いことと思っております。



島山講師講演

さて、神奈川県では、本日、島山先生の講演とも関連すると思いますが、地球温暖化対策として、環境機能向上のため、都市公園の整備や緑地の保全に、積極的に取り組んでおります。しかしながら、本県のみどりは、依然として減少傾向にあり、身近なみどりである里山や農地も、後継者不足などで、荒廃が進んでいる状況にあります。

これらの課題に対応するために、都市から里山、山林まで、全体的にみどりの施策を推進する「神奈川県みどり計画」に基づき、都市域におけるみどりの量と質の向上に取り組んでいただいております。この中で、今年度の県立都市公園の整備につきましては、「あいかわ公園」で、地元の伝統工芸を体験できる工芸工房が四月からオープンしてあります。また、「境川遊水池公園」のテニスコートや多目的グラウンドの供用開始をはじめ、新規拡大と再整備に取り組んでいるところがございます。一方、指定管

理者制度でございますが、第二期として今年度から五年間、全ての県立都市公園で、新たな指定管理者による管理が始まりました。従前同様に、植物管理や施設清掃が適切に行なわれるためにも、本日、ご出席されております造園業の方々のご協力が不可欠であると考えておりますので、引き続き、よろしくお願ひしたいと考えております。

むすびにあたり、講演会の開催にご尽力頂きました神奈川県造園業協会の皆様をはじめ、関係者の方々に感謝を申し上げます。本日の講演会が、ご出席の皆様にとつて実りあるものとして、今後の業務に大いに役立てていただければと考えておりますとの挨拶が述べられました。

続きまして、京都大学フィールド科学社会連携教授・牡蠣の森を募う会代表 島山重篤様より「森は海の恋人」という演題で講演をいただきました。ご講演は次のとおり大変有意義な示唆をいただきました。平成元年春、はるかに気仙沼湾を望む室根山頂に、時ならぬ大漁旗が何百枚と翻っていました。気仙沼湾でカキの養殖を生業とする漁民たちがプ

ナ・ナラ・ミスギなどの落葉広葉樹を植林しているのです。キャッチフレーズは「森は海の恋人」。赤潮にまみれた海を青い海をとり戻したい。そんな願いの漁民たちの切なる行動だったのです。カキの漁場は全国、河川水と海が交わる汽水域に形成されています。太田川が注ぐ広島湾、北上川が注ぐ仙台湾は日本有数の漁場です。水清らかだった気仙沼も、昭和四十年代を境に汚れてきました。水産加工場からの廃水、家庭廃水・水田・畑地での農業汚染、ダム建設、拡大造林計画による森林の荒廃など、川の流域の出来事は全部汽水域に影響します。

今までは漁民は海だけ見て生活してきましたが、川の流域に暮らす人々にも海まで視野に入れた生活をしてもらわなければ青い海はとれません。そう思ったのは、鉄分という成分です。川の水が注ぐ汽水域は、光合成を担うクロロフィル(葉緑素)がつけられる時どうしても必要な成分です。それから、チツソ・リン等の肥料を吸収する時、還元しなければならず、還元作用の実働部隊の還元酵素の働きに触媒の形で鉄分が必要なのです。つまり鉄がなければ植物は成長できません。陸上の土地の六七%はアルカリ土壌で鉄は水酸化第二鉄という形となり不毛の大地です。麦が比較的荒地でも育つのは、ムギネ酸という鉄を溶かす成分を根から出していることは岩手大



植樹祭りは子供たちも大勢参加する



漁師さんによる植樹

学教授だった故高城成一先生が発見しました。鉄・銅・亜鉛などの原子量の大きい金属はそのままで吸収できません。有機酸のようなキレート物質と結合しなければならぬのです。海では更に鉄分は不足しています。鉄は酵素と結合すると酸化鉄という粒子になり、海底に落ちてしまいます。

河川水が注ぐ汽水域は、こも魚貝類、海藻が多く育つのは、植物が吸収できる形のキレート鉄が供給されていることを松永先生が発見されたのです。森林の葉が落ち、腐葉土が形成される課程で形成されるフルボ酸が鉄分と結びつきフルボ酸鉄というキレート鉄になるのです。神奈川県は、東京湾や相模湾には、大きな川が流入し、森から鉄分が供給されています。塩水だけでは海の生物生産は低いのです。ちなみに東京湾と同面積の鹿児島湾は海の面積は同じですが、今でも東京湾は三十倍も魚貝類が捕れます。鹿児島湾は火山の爆発でできた湾なので、川が小さく植物プランクトンの発生がすくないのです。

最近の研究で更にすごいことが解りました。オホーツク海に流入するアムール川は、ソグリエット、中国の国境を流れますが、流域は広大な森林地帯です。この森で形成されたフルボ酸鉄はなんと四千キロも潮で運ばれ、世界三大漁場の一つ、三陸沖まで到達していることが判明したのです。このように、海を視野に入れて、森林の有している広域的機能を考察すると、今までの常識とは桁の違ったものであることが予想されます。

神奈川県で開催される全国植樹祭が、植樹祭の新しいコンセプトの礎になることを期待しております。

講演者 島山重篤氏 プロフィール 一九四三年中国上海生まれ、気仙沼水産高校卒業後、後家業の牡蠣、帆立貝の養殖に従事。昭和三十九年漁場に赤潮等で異変が起き、帆立は死に、牡蠣の身は血ガキになり小魚や小動物が消え、工場廃水、農業等による環境変化であった。昭和五十九年フランス各地の牡蠣養殖場を視察したところ、河口は昔の日本の如く、小動物や海藻が生き生きしていた。いずれも上流に広葉樹の森があり、川が植物プランクトンを海に運んでいる。帰国後森を育てないと「良い海」にならないと「森は海の恋人」運動を提唱し、各地に招聘され活躍されている。

社会貢献支援賞、第二十五回日本エッセイストクラブ賞を受賞 著書：「海は森の恋人」「日本気水紀行」、「鉄が地球温暖化を防ぐ」、「カキじいさんといじげぼう」、「リアスの海辺から」他

世界的な景気後退や急激な円高により、雇用情勢は依然として厳しい状況でございます。

神奈川県県土整備部における本年度の造園業関連の予算につきましては、五年前の平成十六年度と比較すると、全体事業費で約三割減という厳しい状況であります。...

さらに、昨今の経済状況を改善するため、六月の補正予算に引き続き、第二次緊急追加経済対策を講じており、県内中小建設業や造園業の皆様の受注機会を拡大するため、事業費の確保に努めているところであります。

本県におきましては、厳しい財政状況の中ですが、「かながわのみどり」を保全し、育てるために、丹沢大山や水源地域における森林を保全・再生するための取組や、都市部における緑地の確保など、様々な努力をしております。

皆様方もご承知のとおり、来年の五月二十三日には森林再生への取組を全国に発信するため、第六十一回全国植樹祭が「足柄森林公園丸太の森」と「県立秦野戸川公園」の二会場で開催されます。また、都市部における



三好みどり議員連盟会長あいさつ

引き続きまして神奈川県議会みどり議員連盟出席者の紹介後、代表して神奈川県議会みどり議員連盟会長三好吉清様より力強い励ましと業界の今後の更なる発展を祈念するとの挨拶に続き(財)神奈川県公園協合理事長小山剛司様の乾杯の発声で和やかな懇談となりました。

「みどり」行政に関する要望書

出先機関へ提出
「都市における緑化」の推進等を

(社)神奈川県造園業協会と(社)日本造園建設業協会神奈川県支部協同で、十月六日に小野副知事並びに斉藤県土整備部長・石黒環境農政部長を始めとする幹部職員に対し、平成二十二年度に向け、八項目について要望した。

これを踏まえて十月十四、十五日の両日にわたり、八土木事務所等県土整備部十一箇所、自然環境保全センター、県央地域農政総合センター等環境農政部八箇所、企業庁水道局寒川浄水

病害虫防除講習会を開催

農薬の適正使用と安全管理・減農薬を目指して

当協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で病害虫防除講習会を二回実施した。

第一回目は、七月一日か

ながわ県民活動サポートセンターホールにおいて県・市町村施設管理者や農政関係者、協会会員、県植木生産組合関係者一八五名(行政八四名、会員八三名、植木連合十八名)が参加した。



病害虫防除講習会

第三十回

「よこはま技能まつり」に参加

第三十回「よこはま技能まつり」が十月四日(日)に大通り公園石の広場で開催され、神造協をはじめ三十二の市内の技能職団体が参加し、日頃から磨いているものづくりの職人技を発表・展示し、横浜の技能の素晴らしさを披露し、訪れた人々の賞賛を受けていた。

神造協では、庭園部会・横浜マイスターを中心に平成二十年度に表彰を受けた横浜市技能功労者・優秀技能者が協力して出展した。

出展の内容は、①造園・園芸相談②横浜マイスターによる作品網代網・庭園写真③一・二級技能検定モデル写真や技能検定講習会・実技試験風景④竹の花器作成・花のタネ無料配布⑤三十周年記念事業として作成した会員の築庭を紹介するCDのデスプレイ⑥四つ目垣の縄の結び方実演を行った。

特に、四つ目垣の縄の結び方実演には多くの方が関心を示し、関係者の指導を受けながら和気あいあいと取り組んでいた。技能まつり等の一つ一つの取組みが伝統的技術の承継と広がりにつながればと思います。

第十二回横浜マイスターまつり開催される

十一月七日(土)主催横浜マイスター会・共催横浜市経済観光局のもと横浜市技能文化会館・大通り公園で心のこもった確かな技術

目垣実演と庭木手入れ相談を、荒川昭男氏が黒松と落葉樹の剪定実演を行い熱心な質問・相談を受け好評を得た。



松の剪定説明



四つ目垣縄の結び方指導

作庭塾 庭守活動報告

作庭塾 庭守 荒川 昭男

講習はまず延段から始まった

新たな会員を迎え、四十名の大所帯となった庭守の講習が、平成二十一年五月二十四日から始まりまし

た。年内四回の講習は、石にまず慣れてもらうことを考え全て延段としました。

一班班長 植定の渡部さん、二班班長 川田造園の川田さんと班編成をして、班ごとに延段の形を検討し作業にかかりました。

用いた材料は、倉や母屋あるいは石橋等に使われていた本御影、白川御影、守山石等で加工された時代物の葛石と木曽石、又天竜川の玉石そして真黒石。

一回目の講習で感じたことは、全体的に延段の経験が浅い。石を担ぐための腰が出来ていない。その為か玉掛けが未熟。しかし、積極的な姿勢が見受けられ、作業終了後の道具や材料の片付けも機敏に動いてく

れ、これから回を重ねるとに成長してくれるとの期待を感じました。

六月十四日の二回目の延段は、材料に葛石、川石、奈良のチャリ石、木曽石、真黒、桜御影の縁石、紋飛石等を用いて行いました。

又、玉掛け、水系の張り方、地堀り、石の突き固め、目地決め、テコの扱い方等

延段作業に必要な、初歩的所作も同時に学んでもらいました。初回と比較して雰囲気慣れた為か、一人一人の動きが少し良くなったように思いました。

九月二十七日の三回目の講習は、各自が用意した延段のデザインを検討し、選ばれたデザインを形に表すことになりました。図面を書くのは初めてという人もいたようですが、この試みは良かったと思います。

三石を寄せて飛石に見立てたり、曲を出したり、靱崩しや、蹲踞につなげたりと、延段には様々な形が考えられるという講習でした。

十一月二十九日に予定されている四回目の講習は、前回同様各自デザインを用意し、灯籠、手水鉢、道しるべ等を加えた講習にする予定です。

私達が若い頃は、小僧は放つといてもある程度の仕事は覚えるといわれていました。それは「仕事は目で盗め」の格言を容易に行なえるほど、仕事の内容が豊富だったからでしょう。

しかし、現在の状況はそうではありません。目で盗みたくても盗める仕事が少ないなってしまいました。

それが数字として表れているのが技能検定の合格率です。

年ごとに合格率は下降の一途をたどっています。従来の講習の他に、更に講習の場を設けても合格率低下に歯止めがかかりません。

十数年前より、教育研修委員会を代表して実技講習や検定を見学してきました。その印象は、合格した人

はそれなりに事前に練習してきた熱意のある人が多く、不合格になった人の多くが、検定を甘くみて準備を怠ったとの印象を受けました。

このやるせない現実の中で、作庭塾庭守を立ち上げる決心をしましたが、しかし庭守の目的は、実技検定の合格率をアップさせることではなく、合格した人達が、その後も庭づくりへの情熱を持ち続けていける場をつくってやりたいとの気持ちからでした。庭づくりが以前に比べ少なくなった現在、技能継承の場が日常の仕事ではなく、講習というのは悲しいことです。

庭守では、昔は当たり前なことであつた伝える者と、それを受ける者との上下関係の負の部分については極力排除したいと思いま

す。しかし、技を継承するためにはそれなりに緊張感が必要で、その緊張感を持ってない人や、礼儀に欠ける人、又欠席の多い人には退会をお願いする積もりです。

これは私の個人的見解ですが、技を身につける為が一番大切なことは、執着心の持続だと思っています。

庭守に参加した人達の中で、執着心を持続してくれる人が何人いるか楽しみです。

平成二十二年の講習は、向鉢、中鉢、両使い、降り蹲踞と様々な形式の蹲踞を組む予定です。

その印象は、合格した人



- 第1回 5/24 横浜農協 延段づくり、玉掛け
- 第2回 6/14 横浜農協 延段づくり、石材、石の運搬方法
- 第3回 9/27 横浜農協 延段づくり、創作延段づくり
- 第4回 11/29 横浜農協 延段づくり、創作延段づくり



心のふる里と題して里山の美しい造形の中に曲線を観るところにスポットをあててみました。

昨今の経済状況では再びデフレ傾向と報じられ失業率五・二%と高くこれから、グリーンニューデールの時代と新しい言葉とともに環境問題を考えて、大量農業

の時代と新しい言葉とともに環境問題を考えて、大量農業の時代と新しい言葉とともに環境問題を考えて、大量農業の時代と新しい言葉とともに環境問題を考えて、大量農業



神奈川 矢倉沢



千葉 大山千枚田



神奈川県 富士小山

里山風景に魅せられて

鶴見支部 杉本 薫

生産になるとこの景色が、ふる里がどの様に変化するかが心配です。

良い場所が失われ荒れて草だらけになっていたり、木が伐採されていたりするの残念です。美しい森を守って、里山を散歩するひと時があってもいいのでは…。



「名木をたずねて」

旭支部 石山昭夫

蓮着寺のヤマモモ

日本一の樹木(ヤマモモ)所在地：静岡県伊東市戸戸 樹齢：一〇〇〇年 樹高：二十二m 幹周：七・五m 指定日：平成十一年(一九九九)一月十四日 国指定天然記念物

蓮着寺境内から本堂へ至る石段の上にある、国内屈指のヤマモモの巨木である。地面に近い所から太い数本の幹に分かれて枝を広げており、樹勢は現在も盛んである。

ヤマモモは、温暖地の海岸近くに自生する常緑高木で、この辺り一帯は昔から群生地として知られていたらしい。雌雄異株で、この雌株は夏に実をつける。蓮着寺は法華宗の霊跡寺院で、日蓮聖人が伊豆に流されたときの俎岩の霊跡があり、それにちなんで俎岩

山蓮着寺と名づけられている。広大な境内にはさまざまな巨木や古木が多く見られ、「千年の椿」、「石喰いモチノキ」、ヤブツバキの群生なども知られている。四年かけて全国各地を巡り、国の天然記念物を撮影し、風雪に耐えて生き抜いた根本から幹にかけてのどつしりした表情とその土地に暮らす人々と古木の関係を写真集として「日本の天然記念物樹木二百八十選」を昨年十一月に自費出版しましたが、この度「第三回かなしん自費出版大賞」において「優秀賞」をいただきました。

静岡県熱海市(来宮神社)の大クスと静岡県河津町杉梓別命神社(河津来宮神社)の写真が入れ替わっておりましたので訂正しお詫び申し上げます。



第九回 親睦ゴルフ県大会の開催

協会の数少ない親睦会として第九回目を向かえた今年のゴルフ大会は、小田急藤沢ゴルフクラブで行なわれました。参加者六六名。

朝方の雨に反し、スタート時には雨も上がり穏やかな良いお天気になり皆様も気持ちよくプレーが出来たことと思います。

例年通り大変良い成績で優勝は賛助会員ニッセイ同和損害保険繁雅浩氏・準優勝は県央支部(株)厚木植木加藤政弘氏・第三位戸塚支部大黒屋三枝木ガーデン(株)三枝木寛也氏が入賞し、栄えあるベストグロス賞は、東北支部の(株)サガミグリーン

の吉川章氏が受賞いたしました。また腕を

した。

今年から支部対抗ではなく支部間の交流を図るためアトランダムでの組み合わせになりました。

た。

細野さんにお願



磨いて来年に挑戦して頂きたいと思えます。幹事の皆様有難うございました。

表彰コーナー

叙勲等功勞表彰

・端宝双光章受章

受章者……岸本和好

皇居拜謁

神奈川県

・神奈川県民功勞者

岸本和好 富士造園(株)

優秀技能者

中山久夫 中山園

山田久雄 (有)山田造園

青年優秀技能者

黒沼和義 (有)平川庭園

横浜市

技能功勞者

高橋更一 小島造園(株)

石山昭夫 石山造園(株)

内田和夫 内田園芸

中山 勝 植松

優秀技能者

間淵武志 (株)細野植産

関水裕一 (株)関水商事

佐藤幸樹 (株)佐藤造園

加山善広 (有)好樹園

横浜市優良工事表彰

・優良工事請負業者表彰

大橋庭園株式会社

株式会社誠和緑化

株式会社丸孝造園土木

株式会社丸徳

横浜植木株式会社

・優良工事表彰技術者

加藤成行

株式会社佐藤造園

佐山五輪男

大橋庭園株式会社

長谷川圭一

株式会社横浜植木

川崎市

技能功勞者

三家 護 (株)みつや園

優秀技能者

岩崎順一

川崎工苑建設(株)

高橋伸介 (有)八晃建設

青年優秀技能者

宮越 毅 (株)三宝緑地

相馬利康 松本造園(有)

海岸清掃 ボランティア活動

県域青年部部长 小菅 泰浩

毎年夏に行なわれる、「海へ行こう 教職員海岸美化ボランティア」かながわの海岸を教職員の手でクリーンアップの協賛として(社)神奈川造園業協会県域青年部が参加(八月三十日 日曜)してきました。

活動当日は八月のまぶしい太陽の下での清掃活動を期待し炎天下での作業は手の物と思っておりましたが朝から、今にも雨が降りそうな曇天な最悪な天気でした。

今年も藤沢会場と平塚会場の二か所で開催されましたので県域青年部は藤沢会場の鶴沼海岸「鶴沼海浜公園スケートパーク」に参加しました。

八時五十分の集合時間には数名の青年部員が集まっています主催の神奈川県・神奈川県教育委員会・財かな



始める前はゴミが散乱していた海岸も終了時には信じられないくらいきれいになっていました。こんな少しの時間でもかなりの成果がでる活動を今後も積極的に参加して行こうと思えます。

がわ海岸美化財団の開会の挨拶・活動内容の説明があり神奈川県造園業協会を代表して青年部会長の私が挨拶をしました。

分別用にビニール袋二枚・軍手が渡され、活動開始され各団体合わせて百名位いたと思います。

海岸清掃ボランティアには青年部としては今年で三回目の参加になります。毎年思うことですが、海岸はゴミが多すぎることで

しかし、ゴミの問題は海岸だけではないのです。たばこの吸い殻はもちろん、街路樹の植え込みの中にはコンビニの袋・ペットボトル・雑誌等が山積みになっていきます。造園業の仕事に従事している僕たちは

ゴミの清掃と同時に誰もがゴミを捨てない・捨てられない

い・そんな環境を作っていく活動もしていかなければならないと思えました。そのためには次世代の時代を担う子供たちに自然の素晴らしさ・緑の大切さなど伝えていかなければなりません。

しかし、なかなかそう言った機会もすくないので、まずは、県域青年部の定例会の時には各支部の若人達が集まります。

自分の子供・友達の子供・地域の子供など・身近な子供達から伝えていこうと、僕が部長の間は各青年部員は言い続けることをライフワークにしていきたいと思えます。

本題に戻りますが、海岸清掃は一時間程度の時間でしたが、支給のビニール袋は満タン状態で集積場所に巨大なゴミの山ができました。

注射してケムシ等の駆除

殺虫剤/樹幹注入剤

アトラック 液剤 60ml

穴の大きさは6mm → ● ← このサイズ胸高直径30cmに3本



製造

販売メーカー

神奈川代理店

syngenta

林管屋化学産業株式会社

日本消毒株式会社

電話

FAX

0463-24-6474 0463-22-1239

事務局情報

(月間行事一覧)
●諸会議その他●

12月

- 3日(木) 公園緑地部会正副部会長・正副委員長会議
かながわみどりトラスト基金への寄贈
- 5日(土) 造園技能士コース講習会第8回
- 6日(日) 県域青年部会ボランティア公益活動及び交流会
- 8日(火) 情報委員会
- 11日(金) 公園緑地部会
- 12日(土) 造園技能士コース講習会第9回
- 25日(金) 造園技能士コース事務執行状況神奈川県調査三役会

1月

- 9日(土) 造園技能士コース講習会第10回
- 16日(土) 造園技能士コース講習会第11回
- 20日(水) 造園技能士コース講習会修了問題作成会議
- 23日(土) 造園技能士コース講習会第12回
- 30日(土) 造園技能士コース講習会第13回

●会員名簿の変更●

(平成21年度名簿)

新入会員

○横浜中央支部
 (株)草のよしだや 代表者 吉田 龍
 〒247-0026 横浜市栄区犬山町49-7
 Tel 045-893-5447 Fax 045-893-5447

○横須賀支部
 (有)守谷園 代表者 守谷 茂
 〒238-0236 三浦市栄町18-3
 Tel 046-882-5026 Fax 046-881-4955

代表者変更

○神奈川支部
 (株)新生園(会員名簿P.34)
 代表者 新堀 清 → 新堀 肇

○横須賀支部
 川久保造園土木(株)(会員名簿P.55)
 代表者 石川典弘 → 石川栄子

○湘南東支部
 (株)やまなか園建設(会員名簿P.57)
 代表者 小山俊一 → 小山博樹

住所変更

○鶴見支部
 (有)好樹園(会員名簿P.25)
 〒230-0075 横浜市鶴見区上の宮1-23-18

○保土ヶ谷支部
 ニホンターフメンテナンス(株)(会員名簿P.38)
 〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川13-20-5
 Tel 045-348-8008 Fax 045-348-8228

社名変更

○金沢磯子支部
 米山庭苑 → (株)米山庭苑(会員名簿P.45)

街路樹剪定士認定研修会

県内広く各地域で実施し街路樹剪定士をご理解いただくと言うことで昨年は横須賀市で実施をしましたが、平成二十一年度は、平成十四年度実施以来七年ぶりに川崎市多摩区菅仙谷内において座学・実技研修と試験が行なわれた。

応募者は、一六〇名で調整の結果受講者は、日造協会員十三名・神造協会員五十三名、横浜市四名、神奈川県聴講者四名、横浜市聴講者三名を含めて七十七名であった。

山田支部長あいさつに続いて、村松正敏神奈川県土整備部道路管理課長より、「平成十一年度「街路樹剪定士認定制度」が発足されて以来、「社団法人日本造園建設業協会、神奈川県支部」におかれましては、高度な剪定技術を有する技術者の育成に取り組ま



座学状況



モミジバフウ実技試験状況



イチヨウ実技試験状況

れ、多くの街路樹剪定士を送り出すなど、街路樹の質の高い維持管理を目指した取り組みに、大きく貢献されているとお礼の言葉が述べられた。

さて、街路樹を取り巻く最近の状況でございますが、本県では、県西部に箱根や丹沢・大山といった日本を代表するような連続性と広がりをもった緑が存在しますが、都市部においては、宅地開発の細分化により身近な緑の減少が進んでおります。

街路樹には、単に緑陰を作るだけでなく、都市の景観を整え、人や街に自然の潤いをもたらすし、心に安らぎを与えてくれるなど様々な効果がございますが、さらに最近では、地球温暖化ガスの抑制や、ヒートアイランド現象の緩和などの効果が注目されるようになって、私たちの生活にとって街路樹の役割は益々重要になっております。

そこで、厳しい財政状況の中、本県でも質の高い街路樹の維持管理を目指して、平成十七年度からモデル事業として、樹形が整う街路樹剪定士の技術を活用した剪定の実施とその効果の検証を行いました。

大変良好な結果が得られたため、今年度からは対象箇所を増やして、街路樹剪定士の技術の活用機会を拡大したところでございます。今年も大勢の方が、街路樹剪定士の認定を目指して、この研修会に参加されております。本日参加の皆様には、日頃から、街路樹の維持管理につきまして、色々ご理解やご協力を頂いているところでございますが、今回の研修で得た知識や技術を大いに活用していただき、今後の街路樹の維持管理に役立てて

ますとのご挨拶を賜りました。ありがとうございます。研修の一日目と二日目は、街路樹に関する基本的事項、剪定、病害虫、植栽基盤整備、安全衛生管理の座学及びケーススタディと現地剪定後、学科試験を行なった。

三日目は、モミジバフウとイチヨウを対象として実技研修・試験を行なった。受講者は、剪定に熟練した者から経験の浅い者と同様であったが、真剣に取り組んでいた。街路樹剪定士認定研修会は平成十一年度から毎年実施し、全国で八四三一名が神奈川県では、六三九名の街路樹剪定士が誕生し、専門的剪定技術には県・市から高い評価を受けており、一層の活用を要望しているところである。

■編集後記■

本年は、第六十一回全国植樹祭が、また、第四十八回技能五輪全国大会が神奈川県で初めて開催されました。これを契機に緑や造園技術に対する関心と認識が従来にも増して高まり緑の量と質が広がることを期待したいものです。



客室数50室/宴会場12
 中国料理 上海酒家
 レストランヴァンセーヌ
 バー オーク/ティールounge

●ご婚礼・ご宴会・ご宿泊・レストラン●



ホテル横浜ガーデン

HOTEL YOKOHAMA GARDEN

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地
TEL.045-641-1311

横浜スタジアム前

湘南ホテルマネジメント株式会社 藤沢グランドホテル

支部だより

緑支部青年部 三十周年記念 祝賀会

十月十七日(土)に新横浜フジビューホテルにて三十周年記念祝賀会を行いました。来賓の方々は早くから来場していただきスムーズに開催することが出来ました。

部長としての挨拶は正直恥ずかしい限りでしたが、暖かい拍手を頂き素晴らしい人達に囲まれているんだと再認識した次第です。

岸本会長様、根岸副会長様、緑支部小林支部長様、



創立30周年記念祝賀会
(社)神奈川県造園業協会緑支部青年部

その後乾杯、会食に進み緑支部青年部歴代部長の紹介の後、初代部長岩間様より祝辞と共に青年部結成当時のお話を聞かせてもらいました。何も無いところからスタートして現在のしっかりとした基盤を築きあげてくれたことは部を任せられた自分としては大変ありがたい事です。それと同時に三十年の月日の重さも改めて感じます。

造園も月日を重ねて確立して来た物だと思えます。時代で変化していく事も必要なこともあるでしょうが、積み重ねも重要であると感じました。式典で緑支部青年部三十年を振り返り創立当時から現在までの写真のスライドショーを上映し歴代の部長様には懐かしい写真もあつたと思います。

式典終了後部員の記念撮影をし、これから四十年に向けて結束して頑張っていくと部長の言葉に部員全員賛同後、一本締めで式典はお開きになりました。

「戸塚支部講習会」
情報委員長 木下 透

去る11月14日戸塚支部開催のAED・救急救命講習会に参加させていただきました。戸塚消防署にて専門

これからも多方面の方々緑支部青年部の活躍にご理解・ご協力をお願いします。追伸 式典の翌日この式典実行委員として一緒に頑張ってくれた副部長の村田要一さんが不慮の事故によって急死しました。同じ志を持った仲間が亡くなることは、とても辛いことです。ご冥福をお祈りします。緑支部青年部長 織茂利治



心肺蘇生実習

冬の風雨が朝から激しく吹き付けるなか支部員18名が参加し、心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の使用法など救命処置の手順について学びました。

119番通報してから救急車が到着するまでに全国平均で6分間以上の時間がかかるそうです。少なくとも6分、状況によってはさらに時間がかります。心肺が停止してから数分うちに命が助かる可能性は急激に下がっていきます。心肺停止直後の適切な処置が命を繋ぐうえで非常に重要であることを実習前のレクチャーで学びました。

心臓が小刻みに震えてポンプの役割を果たせなくなる「心室細動を電気ショックにより回復させるのが「AED」という機械です。「心室細動」によって生じる心停止は多く、「AED」の使用が有効である意味も詳しく説明していただきました。講義の後グループに分かれ訓練用的人形とAEDを使って体を動かし、声を出しての実習となりました。

意識の確認、通報、AEDの手配、気道の確保と呼気の確認、心配蘇生法、AEDの使用、ステップを踏んでの救命処置方法をわかりやすく解説、実演していただきました。

人形とAED共に訓練用のもので実習ということもあり、ためらいやとまどいを感じることもなく救命処置を体験しました。実際に心肺停止状態の生身の人間を目の前にして適切で迅速な処置を行うのは体験実習ほど容易ではないと思えました。

消防署内での講習会ということもあり実習中に出動要員のアナウンスが署内に響き渡ること数回。その度に「これは目の前で起こりうるのだ」と講習テーマをとっても現実味の帯びたものに感じられました。緊急時においてのとまどいを完全に無くす事は出来ないかもしれませんが、講習会を通して学んだことにより不安がかなり軽減したことは間違いありません。「できるか?」「できないか?」ではなく、「やる」しかありません。今回の講習会にて植え付けさせていただいた救命処置法と強い心を自分の中で枯れさせぬよう大切にしたいと思えます。

高尾山ハイキング
情報委員 岡本勝正



山は風景を楽しむ余裕もあり、楽しい時間を過ごすことができました。午後四時に横浜駅に到着し無事に解散となった。季節を変えてまた訪れたいとの声も聞かれるほど楽しいハイキングとなりました。

日に、高尾山へのハイキングで、横浜南支部員とその家族の交流、親睦を深めた。高尾山は東京都八王子市にあり、関東山地の東南に位置し、標高は五百九十九m。暖帯林と温帯林の境界にあり多くの植物が見られる。春にはスミレ類が多く見られる。ヤマザクラ、ソメイヨシノなども平地よりやや遅れて身頃を迎える。夏には緑陰の中を夏の涼を感じながらのハイキングも楽しい。秋にはすばらしい紅葉が楽しめる。

午前八時に横浜駅京急改札口に集合し、JR線で八王子、高尾さらに京王線で高尾山口に到着した。高尾山にはハイキングコースが七つあり、それぞれ特徴のあるコースとなっている。さらに二十分ほど登ると

まず高尾山ケーブルカーを利用して一号路の途中まで四分ほどで登った。このケーブルカーは最大斜度三十一度十八分で、日本一の急勾配で車窓からは豊かな緑が目を楽しませてくれる。ケーブルを降りてしばらく登ると樹齢数百年の杉並木が見えてくる。たこ杉や天狗の腰掛杉など名前のついた巨木も見られる。途中にテレビでも紹介された高尾山さる園を見学した。園内では係員が二ホンザルの生態などを解説し、ボスの役割や群れの構成など人間社会にも通じ、興味深いものだった。ジャンプをするサルや返事をするサルなど楽しいサルの姿も多く見られた。しばらく休憩や昼寝をして山頂をあとのした。下山は風景を楽しむ余裕もあり、楽しい時間を過ごすことができました。午後四時に横浜駅に到着し無事に解散となった。季節を変えてまた訪れたいとの声も聞かれるほど楽しいハイキングとなりました。